

樟彩

～ 岩田学園だより 2023年2月号 ～



「いじめ防止基本方針」と対応組織図について(定期配信)

校長 兄玉 洋司

いじめ防止基本方針	1
生徒総会	3
APUプレゼン大会	5
学校評価アンケート結果	6
部活動等結果	7
ほけんしつから	7



私立岩田中学校・高等学校 いじめ防止基本方針

平成26年10月1日制定
平成30年7月10日改訂
令和2年4月1日改訂

1. 目的

この基本方針は、本校におけるいじめ防止に係る基本理念および責務を明らかにするとともに、いじめ防止および解決を図るための基本となる事項を定めることにより、生徒が安心して生活し、学ぶことができる環境をつくることを目的とする。

2. 基本理念

- (1) 本校の教育方針である「社会に有為な人材の育成」「きめ細かく、一人ひとりを大切に育てる教育」「自ら学ぶ姿勢を示す意欲的な人材の育成」「公平と正義を重んじ、礼儀やマナーなどの躰を保護者と共に考える教育」を実践し、楽しく安心して中学・高校生活を送り、お互いの人格と権利を尊重する成熟した社会人へと成長できる環境作りの一環として、主体的にいじめ問題に取り組む。
- (2) 本校は、日々の教育活動を通して、いじめが人間の尊厳を踏みにじり、基本的人権を侵害する行為であることを生徒に理解させると共に、いじめは人間として絶対に許されるべき行為ではないとの強い認識を持たせることに努める。

3. 「思いやりや助け合いの心を持って行動できる」生徒を育てる取り組み

(1) 人権教育の推進

本校の教育の方針に基づく日々の教育活動をはじめ、各教科の授業、生徒会活動、ボランティア活動、総合的な学習の時間、ホームルーム活動、人権講演会、学校行事等に人権教育の視点を位置づけ、いのちの大切さを理解すると共に、他者を認めやすい配慮ができる生徒の育成をする。

(2) 体験活動の推進

様々な学校行事と本校が従来推進してきたボランティア活動などを通して、生徒同士がお互いをよく知ると共に、相互扶助の心を育成する。

(3) 特別活動の充実

集団や社会の一員としてよりよい生活や人間関係を構築する力を育むことを目的として、ホームルーム活動、生徒会活動、部活動、キャリア教育、その他の学校行事の指導の充実を図る。

4. いじめの未然防止のための取組み

(1) いじめ対策委員会

いじめを未然に防ぐための指導方法や対策を協議するために、次の機能を担う「いじめ対策委員会」を設置し、必要に応じて開催する。

(構成員) 校長、教頭、生徒指導主任、人権学習担当、寮監長

(開催) 年1回召集し、必要に応じて校長が臨時に召集する。

(活動) ・いじめ問題対応の年間計画の作成
・校内のいじめの現状把握と指導方針・対策の決定

・学校におけるいじめ問題への取組みの点検

(2) 授業改善

研究授業、教員研修、授業評価アンケート等を通して、生徒にとって楽しくてわかる授業の実践に努め、生徒の学ぶ意欲と自己有用感を高める。

(3) 教育相談体制の充実

朝終礼、ホームルーム活動、授業等において、担任および教科担当が生徒の小さな変化にも気づくことができるよう常に細心の注意を払う努力をする。また、定期的にクラス担任は個別面談を行い、人間関係での悩み等を聞き取りと同時に、養護教諭や人権学習担当との連携協力を図り、適切な助言やクラス全体への働きかけができるよう努める。

(4) いじめの起きない学校風土づくり

いじめは人間として絶対に許されないことを日々の学校生活を通して訴え続け、生徒が安心して学校生活を送れる環境作りに努める。

(5) 生徒への啓発

いじめに関する注意喚起を機会あるごとに行うと同時に、生徒会を中心として生徒自らがいじめは絶対に許されない行為であるという意識を高める活動を推進していく。また、生徒だけではなく保護者にもSNS等インターネット上でのいじめに関する現状と対策について外部講師による講演会を実施していじめ防止への理解と

協力を求める。

(6) コミュニケーション能力の育成
アサーティブな対応ができる生徒を育てる。

「相手のことを思いやる大切さ」「自分の気持ち伝える大切さ」を認め、それを行動化できる生徒を育成することを人権教育の目標に掲げる。

5. いじめの早期発見のための取組み

(1) 積極的ないじめの認知

朝終礼、ホームルーム活動、授業等で生徒の表情やしぐさをきめ細かく観察すると共に、わずかな変化に対してもいじめの兆候ではないかとの疑いを持ち、教育相談や養護教諭、スクールカウンセラーと連携しながら積極的にいじめを認知するよう努める。

(2) 自己チェックシステムの活用

生徒が定期的に自分の生活を振り返るための自己チェックを行い、それをクラス担任が確認することにより、いじめ等の早期発見に努める。

(3) アンケートの実施

定期的にいじめ等の実態調査を行い、問題の早期発見に努める。

(4) 保護者との連携

日頃から担任と保護者との連絡を密に行い、保護者がどんな些細なことでも担任に相談できる環境作りを努める。また、量販店や駅などの関係機関との連携を進め、地域での生徒の様子を把握する。さらに、担任以外にも養護教諭、スクールカウンセラーと相談できる旨を周知し、問題の早期解決を図る。

(5) 外部機関との連携

大分中央警察署や大分県こころとからだの相談支援センター等の外部機関と定期的に情報交換する中で、学校外におけるいじめ等問題行動の早期発見に努める。

6. いじめの早期解決に向けた取組み

(1) いじめ調査・サポート委員会

いじめが起きた時、設置し、委員は速やかに実態を調査し、協議を重ね問題解決に向けて計画の立案と適切な対応により、被害生徒を守り通す。一方、加害生徒に対しては教育的配慮の下、毅然とした態度で指導に当たる。

(構成員) 生徒指導主任、人権学習担当、養護教諭、スクールカウンセラー、当該学年主任、当該学級担任、当該教科担任、当該部活動顧問等

(活動)

- ・いじめの実態調査
- ・当該いじめ事案の対応方針の決定
- ・当該いじめ事案の対応経過確認および対応方針の修正

(2) 被害生徒・加害生徒への迅速な対応

複数の関係者からの情報収集および事実確認をした上で、被害生徒の安全を最優先に考え、加害生徒に対しては毅然とした態度で指導に当たる。

被害生徒に対して、継続的なカウンセリングを行うなどメンタル面のサポートを十分に行い、一日も早く安心して学校生活を送れるように努める。

加害生徒に対して、いじめに至った背景等をカウンセリング等により聞き取り、本生徒の立

ち直りと再発防止に努める。

(3) 保護者との連携

被害生徒および加害生徒の保護者に対して、家庭訪問等によりいじめの状況と今後の対応について十分な説明を行い、理解と指導についての協力を得る。

(4) 外部機関との連携

必要に応じて、大分中央警察署や大分県心とからだの相談支援センター等の外部機関と連携を取りながら早期解決に向けた最善の方法を講じる。犯罪行為として取り扱われるべき事案については、学校法人および大分中央警察署等と連携して対処する。また、必要に応じて大分地方法務局や大分県中央児童相談所と連携を取りながら、いじめの被害者や加害者への適切な対応について教示を得る。

7. 重大事態への対処

生命、心身又は財産に重大な被害が生じた疑いや相当の期間学校を欠席することを余儀なくされている疑いがあるときは、次の対処を行う。

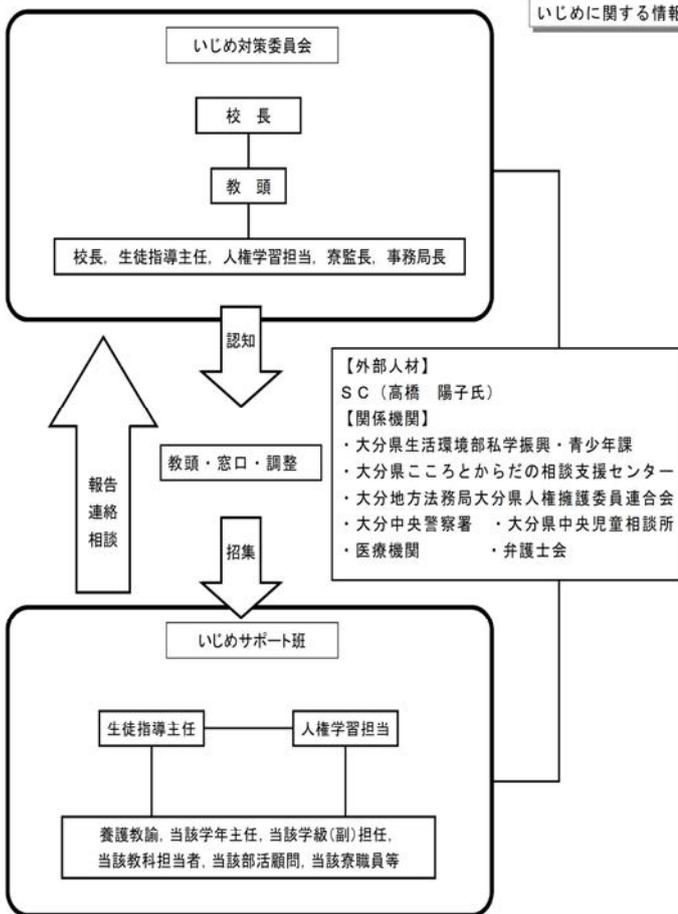
(1) 重大事態が発生した旨を学校法人および大分県生活環境部私学振興・青少年課を通じて知事に速やかに報告する。

(2) 学校いじめ調査委員会が行う事実関係を明確にするための調査に協力する。

8. 学校評価における留意事項等

毎年実施している保護者アンケートにいじめ問題に適正に対処しているか学校評価を行う項目に加え、本校の取組みを評価する。

岩田中学校・高等学校 いじめ問題対応組織図



【チェックシート1】

1 いじめられている生徒のサイン

いじめられている生徒は自分から言い出せないことが多い。多くの教員が目で多くの場面で生徒を観察し、小さなサインを見逃さないことが大切である。

場面	サイン
登校時 朝のSHR	<input type="checkbox"/> 遅刻・欠席が増え、理由を明確に言わない <input type="checkbox"/> 教員と視線を合わせず、うつむいている <input type="checkbox"/> 体調不良を訴える <input type="checkbox"/> 提出物を忘れて、期限に遅れる <input type="checkbox"/> 担任が教室に入室後、遅れて入室してくる
授業中	<input type="checkbox"/> 保健室・トイレに行くようになる <input type="checkbox"/> 教材等の忘れ物が目立つ <input type="checkbox"/> 机廻りが散乱している <input type="checkbox"/> 決められた座席と異なる席に替っている <input type="checkbox"/> 教科書・ノートに汚れがある <input type="checkbox"/> 突然悪人名が出される
休み時間等	<input type="checkbox"/> 井場にいたずらされる <input type="checkbox"/> 昼食を教室の自分の所で食べない <input type="checkbox"/> 用のない場所にいることが多い <input type="checkbox"/> ぶざけ合っているが表情がさえない <input type="checkbox"/> 衣服が汚れていたりしている <input type="checkbox"/> 一人で清掃している
放課後等	<input type="checkbox"/> 候て下校する。または、用もないのに学校に残っている <input type="checkbox"/> 持ち物がなくなったり、持ち物にいたずらされる <input type="checkbox"/> 一人で部活動の準備、片付けをしている

2 いじめている生徒のサイン

いじめている生徒がいることに気付いたら、積極的に生徒の中に入り、コミュニケーションを増やし、状況を把握する。

サイン
<input type="checkbox"/> 教室等で仲間同士で集まり、ひそひそ話をしている <input type="checkbox"/> ある生徒にだけ、周囲が異常に気を遣っている <input type="checkbox"/> 教員が近づくと、不自然に分散したりする <input type="checkbox"/> 自己中心的な行動が目立ち、ボスの存在の生徒がいる

ここ数年の生徒総会は、コロナの影響で各教室で事前に撮影した動画を視聴する形式で実施してきましたが、今年度は体育館での対面方式で3年ぶりに実施されました。対面方式で実施するにあたって、体育館入り口で手指消毒をし、着席する際に生徒の前後左右の間隔をしっかりと確保し、寒い中ではありましたが上着や膝掛けを着用しつつドアや窓を開放するなどの対策を行いました。高3を除く全校生徒が集まって行われた生徒総会は、緊張感がある中で第37期生徒会執行部の5人が進行し、第38期生徒会が示した活動内容や提案事項が承認されました。この生徒総会を機に、感染症対策をとりながらコロナ以前の学校活動に少しずつ戻っていくことを願っています。

◇執行委員会

【生徒会長】小野 怜

【副会長】遠藤 千裕 矢野 藍海

【庶務】堀 元晴 牧 ゆらら

〈スローガン〉

魁(さきかけ) ～ 共に新たな道を切り拓く ～

〈活動内容〉

①学園祭関係

→学園祭の改革・企画・運営を行う。

②ボランティア活動

→ボランティア委員会と協力して、募金活動などを行う。

③歓迎遠足などの行事の企画・運営

④「生徒会活動報告書」の作成

→広報委員会と協力して、各委員会の情報を収集して作成する。

⑤第37期生徒会からの引き継ぎ

→「アイス自販機の設置・課題の自由化・補食制度の再開」を引き継ぐ。

〈提案事項〉

①学園祭の見直し

→クラス展示・運営の見直し交渉をする。

→屋台リクエストのアンケートを試行する。

②傘の貸し出し

→生活委員会と協力して、傘の貸し出し許可の交渉をする。

③昼休みの活動

→放送イベントや設備利用の交渉をする。

④学校設備の修繕

→トイレ・駐輪場の修繕を交渉する。

⑤クラウドファンディング

→ボランティア委員会と協力し、ネットを通じた募金で学校備品を調達するため学校側と交渉する。

⑥『いいところ見つけ』の実施

→学期末にクラスごとにお互いの長所を書いた紙を交換し合う。

(自分に自信を持たせたり、級友との絆を深めたりすることを目的とする。)

◇美化委員会

【委員長】後藤 柚希

【副委員長】二ノ宮 慶吾

〈スローガン〉

美化びか

〈活動内容〉

1. 美化クラスマッチの実施

→各学期に1回、掃除中の見回り。採点は委員長と副委員長が抜き打ちで行う。

※採点基準は後日掲示をする。

2. ゴミ箱付近にゴミ分別表の掲示

3. 掃除用具の点検

→全掃除道具のチェック表を作って、月に1回委員長と副委員長が放課後点検する。

4. ゴミ箱のふきあげ

→各学期の最後の週に、学年ごとに各クラスのゴミ箱を掃除する。

5. トイレの消臭ビーズ、保冷剤の交換

→3ヶ月ごとに交換する。

6. 火・水・木・金・土のゴミステーションの解放

※月曜は渡り廊下のゴミ箱の回収を行うため、ゴミステーションは開放していません。

7 学園祭片付け日のゴミの分別

→効率化をはかるため、美化委員と生活委員の正・副委員長が合同で実施。(1年に2回ほど)

8. 同窓会地域清掃への参加

→各クラスの美化委員・ボランティア委員は、同窓会地域清掃に参加。

〈提案事項〉

1. 草むしり

→各学年のLHRや総合、入念清掃時に草むしりを行う

※始業日など、行事前に行う予定です。場所は後日連絡します。

2. 分別ポスターの作成

→学校でよく出るゴミの分別ポスターを作る。

3. 掃除道具の交換・補充

◇文化・ICT委員会

【委員長】小山田 りか

【副委員長】高山 真生

〈スローガン〉Stay hungry. Stay foolish.

～現状に満足するな～

〈活動内容〉

1. 生け花教室

→季節行事ごとに開催(約2ヶ月に1回)。

※バレンタイン・七夕・ハロウィン・クリスマスの時期で開催を予定。

→約6回の参加でお免状の取得が可能な方向で話を進めている。

2. 文化的活動

→七夕などの季節行事の催しや、芸術鑑賞会での運営補助

3. 講習会の開催

→伝統文化を伝える人や企業にお願いする。

〈提案事項〉

1. 文化ICT委員会だより(仮称)の作成

→文化ICT委員会の様々な情報をBLENDを通して配信する。

※内容は、大学紹介・生け花教室情報・講演会情報など。

2. 目安箱のICT化

→学期ごとにBLENDを通して、生徒会に対するアンケートを行う。

→生活委員会と協力して、各委員会からの返答書をBLENDで配信する。

3. バルマーク収集の休止

→ご協力頂きありがとうございました。今すでに集まっている分は、大切に使用します。

→労力と時間が成果と見合わないため、休止する。

◇体育委員会

【委員長】伊藤 天俊

【副委員長】栗林 奏奈

〈スローガン〉好(ズ)ポーツ

〈活動内容〉

1. 体育大会の企画・運営

2. クラスマッチの企画・運営

3. 授業用ビブスの洗濯

→夏は1週間に1回、冬は2週間に1回行う

4. 体育倉庫の掃除

→毎週土曜日の放課後に行う

5. 体育用具の整理

→毎週土曜日の放課後に行う

〈提案事項〉

1. 体育大会の新競技の提案

2. クラスマッチ競技の見直し

→競技変更やルールの明確化などを行います

3. 各クラス体育委員による体育倉庫の掃除・体育用具の整理

→当番制で毎週土曜日に行う

→詳細は後日お伝えします



◇保健委員会

【委員長】森 愛斗

【副委員長】加藤 涼花

〈スローガン〉**それってあなたの健康ですよ**

〈活動内容〉

1. コロナウイルスの感染予防

①消毒活動

→手すり、自動販売機など

②消毒液、次亜塩素酸、石鹼の補充

2. 換気、手指消毒の呼びかけ

→10分休みに各クラスの保健委員が呼びかけ

3. 手洗いうがいの呼びかけ

→ポスターの作成

4. 各イベントでの補助

→体育大会やクラスマッチでの消毒活動

5. 健康診断の補助

→準備と後片付け

〈提案事項〉

1. 保健に関する情報の掲載

→保健だよりの作成、SNSの利用

2. 学園祭での保健ブース設置

→身長・体重・血圧の測定など

3. 放送による換気時間の確保

→昼休みに放送を行う。

音楽がかかっている間、各クラスの保健委員が教室の窓を開けて換気をする。

◇図書委員会

【委員長】佐藤 彩音

【副委員長】奥本 栞

〈スローガン〉**図書館イノベーション**

〈活動内容〉

・図書室の管理

→各クラスの担当曜日を決めて、当番表を配布する。来ない場合は、報告書を担任の先生に渡す、もしくはクラスの連絡ボックスに入れる。

・要望のある本の購入

→図書室内にある用紙に読みたい本の名前を書き、箱に入れてもらう。
要望のあった本は購入を検討する。

・図書室についての新聞の発行

→月に1回、図書だよりを発行する。

・図書室の開館時間

→昼休み 12:30～13:10

・「岩田生の主張」の募集・運営

→学園祭「岩田生の主張」出場者の募集、発表の練習、参考資料の紹介をする。

〈提案事項〉

・図書室への特設コーナーの設置

→本屋大賞や映画化された本を紹介する。

・1号館1階にある図書室の特別公開

→図書室には入り切らない本を収容している図書室を一時的に公開する。

・本に関するイベントの開催

→図書委員による書評ゲーム「ビブリオバトル」を開催する。ビブリオバトルと

は、本を紹介し合うゲームの事です。

◇広報委員会

【委員長】外山 佳怜

【副委員長】藤澤 一輝

〈スローガン〉**#ForYourPage**

〈活動内容〉

1. 新聞の発行

→新聞は2・4・6・10・12月に発行。

→内容は学校行事や部活動紹介など。

→発行形態はBLEND上でのデータ配信。

→体育大会、文化祭、クラスマッチの時期などに臨時号を発行。

2. 生徒会活動報告書の作成

→各委員会の公約や、活動内容の進捗状況を毎学期末にBLENDにて配信。

〈提案事項〉

1. SNS(Instagram等)での投稿

→広報担当の先生と連携して、学校公式アカウントに月に1回投稿。

→内容は学校内外の生徒が岩田学園に親しみを持ってもらえるもの。

2. 広報委員会生徒によるコラムの作成

→各クラスの広報委員で分担し、発行される新聞にコラムを掲載する。

→内容は岩田学園に関する事柄。

→広報委員会の委員長、副委員長が各クラスの広報委員と相談しながらテーマなどを決めていく。

◇ボランティア委員会

【委員長】佐藤 未乙

【副委員長】松崎 吏世

〈スローガン〉**共感・共創・共生**

〈活動内容〉

1. ペットボトルキャップの回収

→ペットボトルキャップの集まり具合を視認できる回収ボックスの作成。

2. 書き損じはがきの回収

→冬休み明けに各クラスのボランティア委員が回収する。

3. 募金活動の実施

→UNICEFの「アフリカへの募金活動」(春)への参加。

→あしなが学生募金活動への参加。※希望者のみ

→ウクライナ支援募金

→歳末助け合い募金

※その他必要時に募金活動を行う予定です

4. コンタクトケースの回収

→職員室にあるコンタクトケースを回収し、アイシティーに持って行く。

〈提案事項〉

1. 活動後の結果報告

→BLENDで配信

2. セカンドライフで寄付の実施

→学年ごとに使用しなくなった物品を集めて、

学校として寄贈する。

セカンドライフ:NPO法人

全国で不要となったものを国内外でリユースする活動を行う団体。

3. 学校内外でのボランティア活動の実施

→ボランティア委員を中心とした活動を行う。具体的には、行事前に行う清掃活動など。

4. クラウドファンディング(執行部と共同)

→ネットを通じて募金してもらい、学校の備品などを調達するため学校側と交渉します。

◇生活委員会

【委員長】木下 大輝

【副委員長】堀 明彩美

〈スローガン〉**SPY×SCHOOL**

~Smile Policing Yearner~

〈活動内容〉

1. 自転車点検

→年2回ある自転車点検の補助

抜き打ちでツーロック、ステッカーの検査の補助

2. 落とし物新聞の作成

→1ヶ月に1回、落とし物新聞を教室掲示&BLEND配信

3. 駐輪場の整備

→駐輪場状況改善のため、出入り口の管理、清掃、ライン引き

4. 学園祭中の全校一斉片付け時のゴミ分別の補助

→効率化をはかるため、生活委員と美化委員で合同で実施する

〈提案事項〉

1. 傘の貸し出し

→執行部と協力して、急に雨が降り出した時のために貸し出し用の傘を用意する

2. 制服に関する見直し

→旧制服と新制服の両方の着方について再確認し、周知徹底をはかる

3. 職員駐車場から5号館に抜ける通路の再開放

→試験的に1ヶ月間開放出来るよう学校に交渉し、その結果を踏まえて緩和する

4. 登下校指導の強化

→不定期に生活委員会で学校周辺を巡回し、登下校状況を把握して指導する





後期プレゼン大会 ～APUコース～

APU講座担当 児玉智空・橋本隆史

2月1日(水)、岩田学園4号館大講義室にて2023年度APU講座後期プレゼンテーション大会が開催されました。前期に行われたプレゼンテーション大会同様、今回も雪の影響により延期されましたが、生徒たちは8月から取り組んできたグループワークを通して培った能力を存分に発揮してくれました。講座Ⅰ・Ⅱのアドバイザーを務めたAPU在学の学生 Teaching assistantの方々からはプレゼンテーションの技術的なことを学ぶとともに、リアルな大学生の声を聞いたり、進路やキャリア相談にのっていただく場面もありました。

APU講座ⅠとⅡではそれぞれテーマは違いますが、それぞれのテーマ設定のもと自分たちが考える最善の案を考え、それを昨年までAPU講座を行っていた6年生の先輩を含めた非常に多くの人の前でプレゼンをしました。生徒たちにとっては準備等大変なことも多く、本番はとても緊張したと思います。しかし、この経験を基に来年度はさらにステップアップしてくれることを期待しています。

以下に、各講座の担当からのコメントと上位入賞グループを掲載します。

【APU講座Ⅰ(担当:児玉智空)】

○テーマ

「SAVE THE WORLD ～世界を救うビジネスを作るのは君だ～」
今後世界が直面することが予想される課題や現在直面している課題について話し合い、それらを解決できる社会企業のビジネスプランを作成する。

○目標

前期のプレゼンで学んだことを生かし、ビジネスプラン作成を通して、日本が抱えている課題、世界が抱えている課題を解決しようとする。

○講評

前期のAPU講座Ⅰでは、SDG sに関するテーマでプレゼンを行いました。後期では、SDG sの目線も大切しつつビジネスプラン作成という難しいテーマで行いました。はじめは、ビジネスプランという難しい内容に苦戦していましたが、自分たちが考える日本や世界の課題を出していくうちに、「こんな企業があったら、いいよね。」という声が出てくるようになり、非常にユニークで現実性の高いビジネスプランを作りあげることができました。多様性の求められる世界で、自分たちなりに課題を探し、その答えを自分たちなりに考えぬくことができる能力はこれから先、必ず役に立つと思います。今回のテーマを通して考えたことを生かし、来年のAPU講座Ⅱでも4年4組らしいユニークでユーモア溢れる発表を期待しています。お疲れ様でした。



【APU講座Ⅱ(担当:橋本隆史)】

○テーマ

「グローバルスタディ発展 ～世界の課題を解決するための、日本の政治的アクターからのアプローチを提案しよう～」
私たちの暮らす日本が、世界が今後抱える課題に対してどのような政治的対策を取っているかについて国際的な視点から探究し、これからの日本が世界の課題の解決に立ち向かうために、政府や政党、市民団体といった政治的アクターが取るべきアプローチについてプレゼンします。

○目標

SDG sの視点から世界的課題における日本の現状を把握し、その解決を図るうえで適切な政治的アクターを提示し、ユニークかつ現実的・効果的なアプローチを提案する。また発表時には話すべき事柄を深く理解し、

オーディエンスの反応に応じて自在にアウトプットできるようになることを目指す。

○講評

前期では国際的課題を解決するために、架空の国際機関を提示するというチャレンジングなテーマでしたが、今回も日本における課題解決を「政治的アクター」からのアプローチとして提案するという点で、より現実的な考察が求められる難しいテーマでした。日本社会の現状を他国と比較することで解決が必要な課題は見えてくるものの、解決のためにどのような政治的アクターを想定するかというところで最初は皆苦心していたようです。しかし、TAの皆さんの的確なアドバイスもあって、最終的には各グループともにそれぞれ非常にユニークで興味深い解決手法を提示することができたのではないかと思います。そして何よりも感心したのは、5-4全体として、プレゼン内容が質的に充実していたことに加えスライドの見映えや見やすさ・話し振りなどあらゆる面で上級生としての明確な優位性を示してくれたことです。今回のプレゼンが4-4にとって今後の良い目標になってくれれば幸いです。



<APU講座Ⅰ(4-4)結果>

1位 最優秀賞

グループB 「アニメ界を救おう！」

(奥村, 財前, 星野, 矢野)

2位 優秀賞

グループD 「8489000の問題とその可能性」

(佐々木, 高見, 横山)

<APU講座Ⅱ(5-4)結果>

1位 最優秀賞

グループ4 「私とミミズとゴミと」

(赤峰, 清水, 首藤, 久田, 深田)

2位 優秀賞

グループ5 「歩いて発電しよう」

(梅田, 緒環, 堀場, 盛本, 山尾)

3位 優良賞

グループ1 「意識し合える社会へ」

(青木, 荒木, 井本, 久原, 牧)



保護者の皆さまにご回答いただきました「学校評価アンケート」(12月実施)の全校集計結果についてご報告いたします。集計数は362(75.4%)でした。アンケートへのご協力、誠に有り難うございました。

今回のアンケート結果を真摯に受け止め、『生徒のやる気を高め学力をつける』、『充実した環境をつくる』こと、そして進学実績の向上等を継続の課題とし、全職員が一丸となって鋭意邁進する所存です。

なお意識調査として伺いました、「海外修学旅行」・「夏季延長授業」・「土曜授業」につきましても今後の参考とさせていただきます。

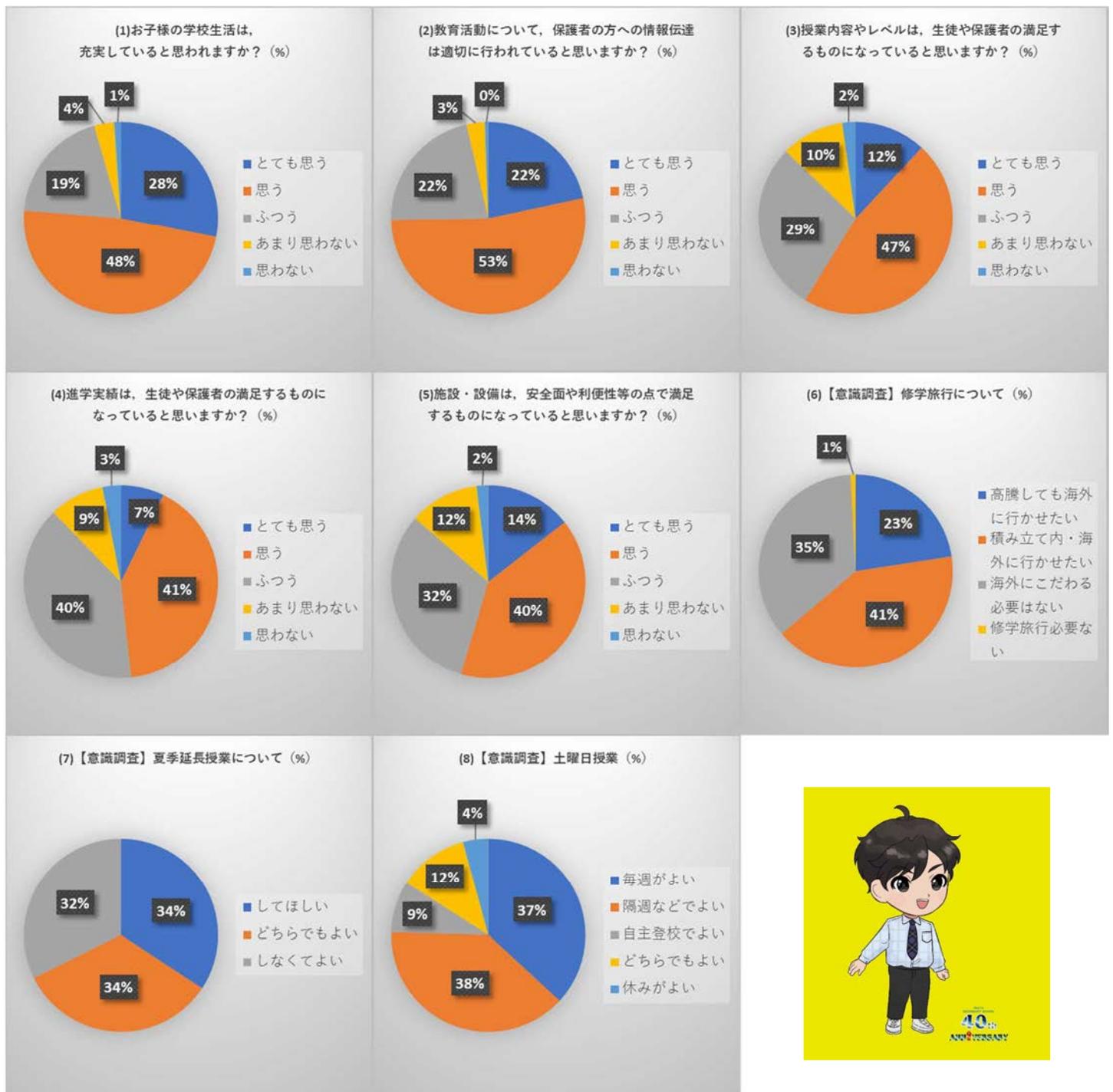
また問い合わせのありました以下のご質問・ご要望につきましては、この場で回答させていただきます。

1. トイレの改善について

2月23日(木)より、5号館男女トイレの塗装等を行っております(天井、個室ブース、手洗いかんターを抗菌塗装・男子小便器のフラッシュを非接触式に交換・トイレ内鑑の交換・個室ブースの補修等)

2. 保護者からの連絡手段について

保護者からのご連絡につきましては、これまで通り、出欠連絡等は基本的にはBLENDで、その他のお問い合わせ等は担任あるいは学年団に直接電話でお願いいたします。なお海外に在住されている場合等におかれましては、担任等とのメールでのやり取りが可能となっております。



2月の部活動等結果報告

インターアクトクラブ

12月17日（土）

大分川清掃活動及び花壇への苗植え
国交省大分河川事務所及び地域の方々と一緒に、大分川河川敷の清掃活動と、河川敷にある花壇にパンジーなどの苗を植えました。大分川がより綺麗に、華やかになるよう、これからも継続して行います。送迎等、保護者の皆さまのご協力に感謝します。ありがとうございました。これからも宜しく願いいたします。

2月18日（土）13時30分～13時50分

土のう袋贈呈式
被災した方々が少しでも笑顔になれるよう、一枚一枚に絵やメッセージを描いた土のう袋、計66枚を、津留地区まちづくり協議会に寄付しました。当日は津留地区まちづくり協会の会長、津留

地区自主防災会連絡協議会の会長、岩田町1丁目自治会長及び国交省大分河川事務所所長が来校され、防災会連絡協議会様より感謝状をいただきました。前回の大分県社会福祉協議会様に続く2度目の土のう袋寄付となります。今後も寄付活動を続けていきます。よろしく願いいたします。

2月18日（土）14時～15時

大分川河川敷清掃活動及び苗植え
大分川河川敷にて清掃活動を行いました。大雨が降った際に川から流れ出る木屑がかなりありましたが、熊手で一生懸命掻き出し、20袋以上のゴミを集めました。また、石段にはビオラなど色とりどりの苗を計74本植えました。当日は地域の方々、大分キャピタルロータリークラブの方々、大分県庁、国交省の方も

参加していただき、また、終了後学校に戻る際には、河川敷で散歩などされていた多くの方々から「お疲れ様」「ありがとう」の言葉をいただきました。今後も継続的に続けていきます。今回もお迎えなど保護者の皆さまのご協力に感謝いたします。これからも宜しく願いいたします。

（顧問：辰口 裕一朗）



新型コロナウイルス感染症対策

これまで屋外では原則不要、屋内では原則着用としていましたが

令和5年3月13日から

マスク着用は個人の判断が基本となります

ただし、以下のような場合には注意しましょう

周囲の方に、感染を広げないために

マスクを着用しましょう



受診時や医療機関・高齢者施設などを訪問する時



通勤ラッシュ時など混雑した電車・バスに乗車する時

ご自身を感染から守るために

マスク着用が効果的です



高齢者



慢性肝臓病
がん
心血管疾患 など

基礎疾患を有する方

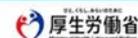


妊婦

重症化リスクの高い方が感染拡大時に混雑した場所に行く時

本人の意思に反してマスクの着脱を強いることがないよう、個人の主体的な判断が尊重されるよう、ご配慮をお願いします

※事業者の判断でマスク着用を求められる場合や従業員がマスクを着用している場合があります



作成：令和5年2月10日

ほけんしつから

養護教諭 野村 めぐみ

令和5年3月13日以降のマスク着用の考え方について

皆様、ご存じだと思いますが、令和5年3月13日以降、個人の主体的な選択を尊重し、着用は個人の判断に委ねることになり、岩田学園でもマスクの着用は個人の判断に委ねることになります。

今後、新型コロナウイルス陽性者が増加した場合、各クラスや学年ごとにマスクの着用をお願いする場合もあるかもしれません。マスク着用以外のコロナ対策は引き続きお願い申し上げます。

新学期からのコロナ対策に関しましては、再度学校の方で検討しお知らせ致します。



<http://iwata.ed.jp/>

ホームページやブログでCheck!

**能力の差は小さいが
努力の差は大きい**

脚力尽くる時、山更に好し。
輝ける未来へ、全力でサポートします!



大分市岩田町1-1-1

学校法人岩田学園

電話 097(558)3007

Fax 097(556)8937

Email iwata@iwata.ed.jp

21世紀の有為な人材を育成する

岩田中学校・高等学校